26 年末交渉開始　働きやすい職場へ

要求実現を目指し 課題解決にも取り組む

WING
日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 563 （18−02）
2026年 10月21日

Tel:03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

10月21日から26年末要求に関する団交が始まっています。JLUでは要求とは別に夏からこれまでの会社の対応について、職場の声も伝えていきます。

災害時の対応 今のままで大丈夫?

今年は台風や大雨による土砂災害など、各地で災害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。災害時の対応について、組合員からいくつかの声が寄せられています。

災害で寮に住めないとき、ホテル宿泊を認めるべきでは?

離島勤務の整備士が台風による停電が5日間続き、ホテル代が自費負担となった事例がありました。宿泊費の会社負担を含め、柔軟に対応できるルールを整備するべきです。

災害による通勤困難に、年休以外の対応を!

豪雨や交通機関の運休で出退勤が困難になった場合、本人の責任ではない遅刻や帰宅困難に対し、管理職が柔軟に判断できる仕組みが必要。急なテレワークへの切り替えが難しい現場の整備士が、不本意な年休を取らずに済むよう、会社に配慮を求めます。

安否確認は地震だけでよいのか?

現行の安否確認システムは地震が中心。豪雨による河川氾濫や土砂災害などにも対応できるよう、安否確認の仕組みの拡充も検討課題です。

「災害見舞金の充実を」という声も。JALIでは床上浸水に6.5万円などの見舞金精度があります。被災者への周知も大切です。

26年末要求に入っていない その他の要求

9月に実施したアンケートに寄せられた「一時金以外の要求したいこと」には以下のようなものがあります。

- 猛暑日手当
- 休日呼出手当増
- スカイライナー利用
- 定年・雇用延長問題
- 食環境の改善
- 退職金積立期間延長

これらはJLUの26年末要求に含まれていないものの、会社に考え方を聞くことはできるでしょう。

屋外作業手当は粘り強く訴えています。今年から気象庁の予報用語に「酷暑日」（40℃以上）が追加されましたが、「猛暑日」となる35℃以上の日に屋外で働く人にも手当を、という要求です。呼出手当は深夜帯以外の出勤では1,000円。大切な休日に呼び出されることへの手当も、長らく変わっていません。物価上昇でお金の価値が変わるなか、その他の手当も見直すべきです。

ANAグループでは来春に向けて定年延長が協議されています。JALグループでは契約社員となる雇用延長制度が定着していますが、今後の方向性が気になる人もいるでしょう。雇用延長で働く人は多いものの、退職金の積立ては55歳までです。定年が60歳ならそこまでは積み立ててほしいですし、定年を延長するなら退職金制度の見直しも必要です。

JLU 要求

2026 年末一時金は 3.3ヵ月＋10万円 支給すること

■26 年末アンケートの一時金に関する回答を集計すると、3.3ヵ月＋12 万円となりました。従来通り「若年層のために」という考え方に加え、「ベースアップでの不足分を補いたい」「業績連動とは別枠で支給してほしい」との思いもあるでしょう。定額部分にもこだわった要求となっています。

係数部分は 3 年連続で 3.3ヵ月台となりました。JU 統一要求も「3ヵ月以上」であり、期末として後から支給できるのであれば、年末に支給してほしいという思いが表れています。

アンケートに寄せられた諸要求・自由意見欄の記述抜粋

■ 一時金、賃金、手当などに関する声

- 高速代全額支給を。いつも下道で通勤しており通勤の労力もバカにならず当然通勤時間も短縮される。寒冷地手当の支給。以前から声の高い要求で本当に燃料費はバカにならず物価も高騰しているので価格も上がっている。
- 寒冷地手当ての毎年支給 スタットレスタイヤ、ワイパー、防錆処理だけで赤字になる。
- シニアの働き方は労働密度が現役と変わらないのは許せない。給与下げられているのに、どうして正社員と同じ働き方なのか説明して欲しい…
- 支店で借上社宅だが、最近家賃が64000円から85000円、共益費も2000円アップとなり、8500円/月程度支出が増えた。家賃の増額が理由の引越しは個人理由となり負担は自己となると言われた。物価が上がり、家賃等についても全国的に起きている事なのだろうか？会社として社員の負担増を軽減する措置がほしい。
- 一時金を年間で決めるのはいいが、最低でも夏3ヶ月、冬3ヶ月、期末にして欲しい。

■ 人員不足、資格者不足に関する声

- 資格者不足の為シップリーダーの負担増が恒常化している。
- AERO BREATHに人を持って行かれて今後重整備は残すのか、もう海外に任すのか？将来像を知りたい。
- 人手不足で現場はますます作業密度が高い（他課に支援等が増えてる）この状況を改善しないとキツクなるばかりで職場の環境は悪くなる一方でヤル気も無くなる。
- とにかく現場で作業する整備士がいない。支援を呼んでも「いない」と無線が入る。以前一人で頑張ってたらCREWから“整備さん応援もらったらと言われた”現場にいる管理職(シフト責任者以外)の方にもHDLGしてもらいたい
- 外航のリカレント教育時間のM/Hを組み込んでいないので隙間時間か家でやっている。
- 羽田は事故やケガが多くて対策ばかり対策に追われて仕事がおろそかになっている、キャンペーンばかりでなく少ししっかりと仕事が出来るくらいに生産を落とせないのか？このままだと大きな事故や、ケガにつながりかねない。

■勤務、転勤、その他に関する声

- 70歳以上でも働ける職場をつくってほしい。
- 地方への転勤時車は必需品。自腹を切って買ったり5年のうちで2回の車検代を自腹はどうなんでしょうか？会社の命令で行かされた挙句自腹は納得いきません。海外転勤時は会社が車を与えるのに国内だけ自腹？海外と同じように社用車として転勤した皆が使えるようにするべき。
- 転勤帰任時には借上寮にして、航空券/下見休日、期間を3年にして欲しい。
- 転勤地からの帰任時、寮に入らない場合は単身だと年休とレジャートラベル(LT)を使うようにJALI出向者はなっているが、寮以外または借上寮を探しに東京に行く時、休日と航空券を出してもらいたい。

♦アンケートの集計結果詳細とその他の意見は WEB で。パスワードはお問い合わせを。